

SourceTree 導入手順

2016/11/07 浅見悠介

目次

1. [そもそも Git、SourceTree、GitHub って](#)
2. [導入手順 1 -GitHub のアカウントを作る-](#)
3. [導入手順 2 -SourceTree のインストール-](#)
4. [SourceTree での操作](#)
5. [さいごに](#)

全文読む必要は全くない。

知ってる人はガンガン進むべし。

そもそも Git、SourceTree、GitHub って

Git はバージョン管理システム。

ファイルを変更したりした時に変更内容を細かく記録して、
後から修正内容の差分を見たり、いつだれがその変更をしたのか確認できる。
また、変更を取り消すこともできる。

このように Git は便利だが、基本的にコマンドラインで操作することになる。
そこに抵抗を感じる人が多いが、それを解消するのが SourceTree。
SourceTree を使うことで GUI で操作可能になる。

じゃあ GitHub は？

GitHub は Git を使用して修正をした内容をやり取りするためのサーバを
提供してくれるサービス。会員登録をすれば無料で使用できる。
ただし、無料で使用する場合は内容が公開されるので注意。

導入手順 1 -GitHub のアカウントを作る-

まずはアクセス。

<https://github.com/>

ニックネーム・メールアドレス・パスワードを入力して sign up。

次にプランを聞かれると思うので無料っぽいやつを選択。

最後にアンケートがあるが、スキップも可能。

アカウントの作成が終わったら、おそらく登録したアドレスにメールが届いているので
そこからメールアドレスの認証を行う。

これで GitHub のアカウント作成は完了。

導入手順 2 -SourceTree のインストール-

次に SourceTree をインストールする。

ちなみに Git は SourceTree をインストールするとちゃんと入る。

こちらまずはアクセスして DL。

<https://ja.atlassian.com/software/sourcetree>

DL できたら通常のソフトウェアと同様にインストールをする。

最後の終了後すぐに起動するか、のチェックは外さないようにしよう。

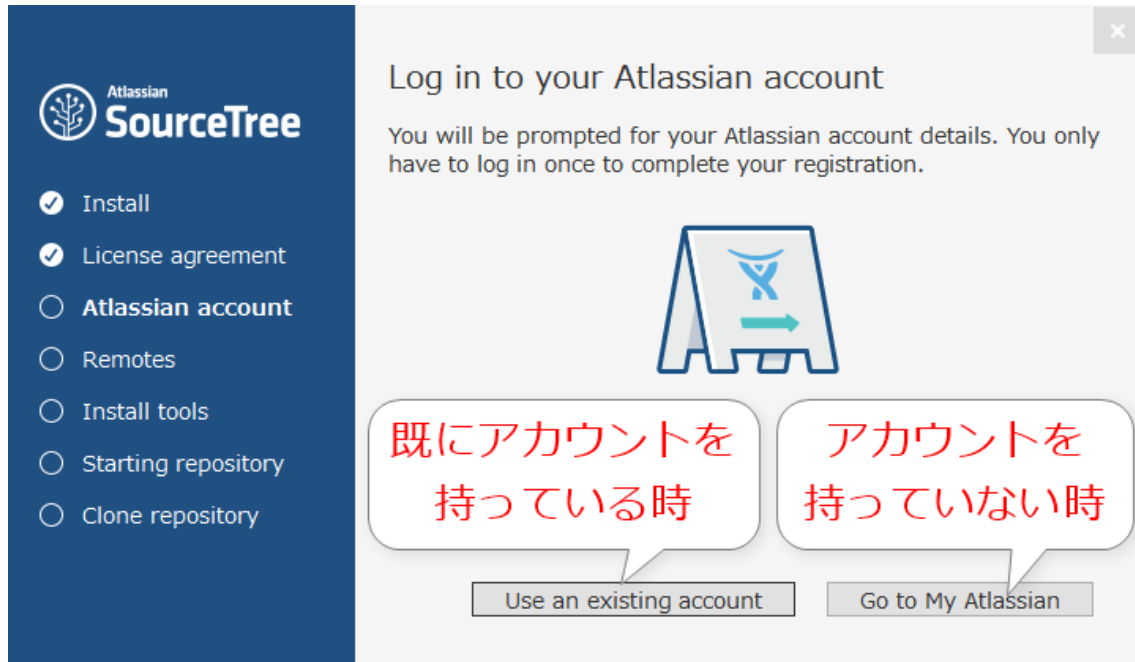
インストールが完了し、起動するとこんな画面が出てくる。



ここからしばらくは SourceTree を使うための設定などを行っていく。

まずは当然だがライセンスに同意して続行。

次のようになる。



SourceTree を使用するには Atlassian のアカウントが必要になる。

これを読む人はおそらくアカウントを持っていないので右側のボタンからサイトに飛ぶ。

Google のアカウントでのログインも可能？

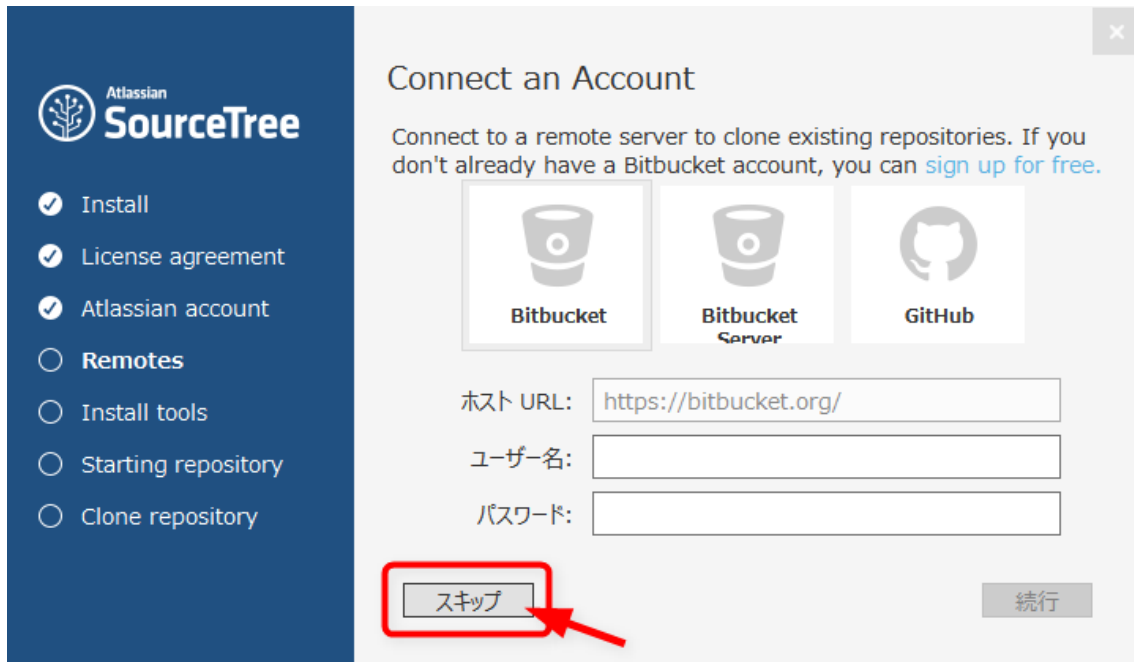
↑これは忘れたのでやってみてもいいかも。

アカウントが整ったら戻ってきて、入力。

認証されたら続行。

次にリモートリポジトリの設定になる。

ここで先ほど登録した GitHub のアカウントを登録する



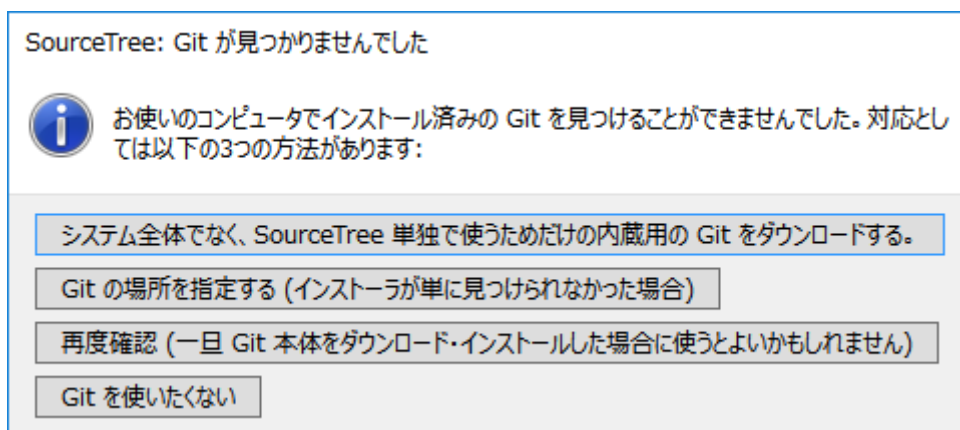
画像はスキップしてるが、気にしない。

次に SSH キーを読み込むか聞かれる。

普段使用しているものがあればファイルの場所を指定する。

なければとりあえずキャンセルで。

次に進むと、こんなウィンドウが出る場合がある。



PC に Git がない場合に出る。使ったことがなければ一番上で問題ない。

すると自動的にインストールが始まり、完了するとようやく SourceTree が立ち上がる。

ここまでできたら浅見に伝えること。GitHub のチームに招待する。

SourceTree での操作

クローン

ネットワーク上のリポジトリから自分の PC にコピーしてくる作業。
まずはクローンしよう。

SourceTree の左上あたりに新規/クローンを作成するというボタンがあるはず。
それをクリックするとウィンドウが出てくる。
元のパス/URL のところに、GitHub で表示されている <https://github.....git>
をコピーして貼り付け。
次に自分の PC のどこに保存するかを指定する。これはご自由に。
そこまで指定できればクローンできるはず。

ちなみに、クローン段階でエラーがでる場合があるらしい。
SSH キーの設定が必要になる場合があるのでエラーが出たら浅見に伝えるように。

フェッチ/プル

クローンが完了したら、SourceTree 上でバージョン管理ができるようになる。
次は、リモートから最新の状態を自分の PC に適用する作業をする。

SourceTree の上あたりにいくつかアイコンがあると思う。
そのうちの「フェッチ」はリモートの最新の状態を読み込む。
「プル」は最新の状態を PC 上に持ってきて、結合までしたりする。

その違いは微妙かもしれないが、フェッチはただの確認作業と思ってもらえればいい。
プルで実際に PC 上のものをリモートの最新の状態にする。
ちなみにプルすると同時にフェッチも行われる。

コミット

次は実際に作業をして、ファイルを変更したときにする作業。
「コミット」は作業をして変更・追加したファイルの記録を**自分の PC 上でする**。
プルをしたり、この後出てくるプッシュをするにも、変更点が残ったままだとエラーになり、
まずコミットをしろと言われるので、コミットはこまめにすること。

コミットをする際には上のアイコンをクリック。
すると枠が二つ出てくる。これは変更を登録するファイルを選択できる画面だが、基本的にすべてなので、StageAll というボタンをクリック。
クリックするとファイルがもう片方の枠に移動するはず。
できたら、下の枠に変更点などのコメントを書き、右下のコミットを押す。
すると、ツリー上に変更が登録される。

プッシュ

コミットした内容はまだリモート上には登録されていない。
実際にリモート上の状態も変更するのがこの「プッシュ」である。
プッシュを選択するとプッシュ先のブランチを聞かれる。
ブランチについては後述を参考に。あるいは浅見に聞け。

ブランチを指定したらプッシュ。問題なければリモート上でもツリーが更新される。

ブランチ

先ほども出てきた単語だが、これはツリー上の枝分かれした一つ一つだと思えばいい。
作業する際にいくつかあるタスクをブランチで分けて作業し、
最後に結合（マージ）をするほうが効率的になるし、安全。

簡単なのは、一人一つのブランチを作り（例：Asami ブランチ）、
一つ大元の枝（master）に徐々に結合していく方法。

新しくブランチを作るときは上のアイコンのブランチを選択、名前を入力してつくる。
ブランチを作ると、ツリーの左側に作成したブランチが増える。
○のしるしがついているのが今作業中のブランチになる。
コミットやプッシュはこのブランチに基本的には行われる。

作業するブランチを変更するにはその左のブランチをダブルクリックするだけ。

基本的にはブランチのマージはリーダーおよびリーダーが依頼した人がやるので勝手にやらないように！

さいごに

紹介した機能の他にもいろいろあるし、
コンフリクト（競合）は作業していればおそらく起こるし、
コンフリクトしなくても謎のマージをされる可能性もあるが、
基本的には上記の操作さえ覚えてしまえばめっちゃ便利なのでできれば使っていきたい。

ググれば結構情報も出てくるので困ったら Google 先生に聞くといいかもしれない。
ただし、とにかく守ってほしいのは

困ったらまず連絡・相談

これさえ守れば崩壊はしないはず。
みんな協力よろしく！